

令和4年度の森林環境譲与税の用途について

1 森林環境譲与税の活用の効果

(1) 森林経営意向調査の実施

・会計年度任用職員1名を雇用し、森林経営意向調査を実施した。返信のなかった森林所有者に対しては再度の通知を行い、返信を促した。返信内容の集計結果は、森林環境譲与税を活用し導入した独自システムへ蓄積し、見える化するにより今後の森林経営管理制度事業の実施へと繋げていく。

(2) ウバメガシモデル林の造成

・大月町有林へウバメガシのモデル林を造成した。ウバメガシは町木にも指定され、備長炭の原木となり町内へ広く自生しているが、生育地の多くは海岸近くで、崖など地形の制限や国立公園など法規制があり伐採が可能な箇所は限られている。また県東部との競合により原木の枯渇が懸念されており、原木供給体制が急務となっている。永続的にウバメガシの安定供給を行うための資源の確保拡大、ウバメガシ再造林の施業技術の確立を図る。

2 森林環境譲与税の用途の内容

(1) 歳入

単位：千円

区分	金額
森林環境譲与税	12,520
計	12,520

(2) 歳出（用途内訳）

単位：千円

事業名	事業費			事業内容	事業実績
	総額	財源内訳			
		R4森林環境譲与税	他の財源		
森林経営管理制度事業	4,687	4,687	0	R1.2年度に導入した森林情報システムを活用し、会計年度任用職員1名を配置して、森林経営意向調査を実施	清王地区：49名105筆 48.5ha 姫ノ井地区：12名14筆 3.9ha 唐岩地区：3名8筆 7.7ha 3地区計：64名127筆60.1haの意向調査を実施
ウバメガシ再造林事業	1,515	1,515	0	備長炭の原木となるウバメガシの施業技術の確立を目的としたウバメガシモデル林の管理	育苗施設の整備 西串山 伐採・造材・作業道開設 トギ山 下刈作業
幡多地域森づくり推進センター負担金	775	775	0	森林経営管理制度における業務の効率化や負担軽減を図るため、市町村業務の共同処理を行える幡多広域組織を新設	
自伐型林業支援事業	100	100	0	小面積でも山仕事を続ける中小規模森林所有者の育成及び確保を図るため、林業に関する学習会の実施、視察等の取り組みを支援	作業道実地研修の実施
基金積立（森林環境整備基金）	5,443	5,443		次年度以降の森林経営管理制度関連事業に必要な財源として基金への積み立て	
計	12,520	12,520			